

# 改葬許可申請書 記入例①

申請者が、  
現在納骨して  
いる墓地の  
墓地使用者で  
ある場合

- 申請者：原則として、現在納骨している墓地を使用している「墓地使用者」の方。  
墓地使用者：墓地管理者（寺院等）から許可を受け、あるいは墓地管理者と契約して、現在納骨している墓地を使用している方。または、現在納骨している墓地の祭祀（祭事や法事等）を主宰する方。
- 墓地使用者との関係：現在納骨している墓地の墓地使用者から見て、申請者が何にあたるか（続柄等）。申請者が墓地使用者である場合は「本人」と記入。  
※現在納骨している墓地の墓地使用者でない方（「墓地使用者との関係」欄が「本人」でない方）が、遺骨の改葬許可を申請する場合、墓地使用者の改葬承諾書が必要です。  
（「改葬許可申請書・記入例②」「改葬承諾書・記入例」参照。）

## 改葬許可申請書

令和 年 月 日

広島県安芸郡府中町長

次のとおり改葬許可を受けたく、  
墓地、埋葬等に関する法律第5条  
第1項により申請します。

申請者 住 所 **安芸郡府中町大通三丁目5-1**  
氏 名 **府中 太郎**  
電話番号 **012-345-6789**  
墓地使用者との関係 **本人**

死亡者の氏名 <small>(死産の場合、父母の氏名)</small>	死亡者の性別 <small>(死産の場合、死児の性別)</small>	死亡年月日 <small>(死産の場合、分べん年月日)</small>	死亡者の本籍 <small>(死産の場合、父母の本籍)</small>	埋葬または火葬の場所
死亡者から見た申請者の続柄 <small>(死産の場合、空欄)</small>			死亡者の住所 <small>(死産の場合、父母の住所)</small>	埋葬または火葬の年月日
<b>府中 一郎</b>	<b>男</b> ・女	<b>平成 3</b> 年 <b>4 月 1</b> 日	本籍 <b>安芸郡府中町●●●●</b> 住所 <b>安芸郡府中町▲▲▲▲</b>	<b>■火葬場(■市■)</b> <b>平成 3 年 4 月 3 日</b>
続柄 <b>子</b>	甲・女	年 本籍		

- 死亡者（遺骨の方）の氏名、死亡者から見た申請者の続柄（死亡者から見て申請者が何にあたるか）、死亡者の性別、死亡年月日、死亡者の本籍・住所
- ※死亡者が「死産児」の場合： 次のようになります。  
死亡者の氏名 → 父母の氏名  
死亡者から見た申請者の続柄 → (空欄)  
死亡者の性別 → 死児の性別  
死亡年月日 → 分べん年月日  
死亡者の本籍・住所 → 父母の本籍・住所

- 遺体が火葬された場所とその日付
- 「埋葬」は土葬のこと。現在はほとんどないので、通常「火葬された火葬場の場所」と「火葬された年月日」になります。  
(現在遺骨が納められている墓地の場所、及びそこに遺骨が納められた日付ではありません。)

- 墓地管理者証明欄：現在遺骨が納められている墓地の墓地管理者に記入・押印してもらってください。  
※墓地管理者：現在納骨している墓地を管理・経営している寺院・法人等。寺院・法人が管理・経営している墓地は、その代表者等。  
個人が墓の底地を所有、または墓の区画を管理していて、墓の祭祀を主宰している場合は、その個人。
- 申請書を府中町へ提出する前に、墓地管理者に、上記の死亡者に関する記載事項を確認してもらい、この証明欄へ、墓地管理者の住所(所在地)・氏名の記入と押印をもらってください。  
墓地管理者が不明な場合は、ご相談ください。

現在遺骨が納められている墓地・納骨堂	名 称	<b>府中●●霊苑</b>	●現在遺骨が納められている墓地の名称と所在地
	所在地	<b>安芸郡府中町●●●●</b>	
現在遺骨が納められている墓地・納骨堂の管理者証明欄	住所	<b>安芸郡府中町大通一丁目■●●■</b>	●改葬する(遺骨を移す)理由
	氏 名	<b>宗教法人■●寺 代表者 ■■ ■■</b> 印 	

改葬の場所 <small>(遺骨を移す先の墓地・納骨堂)</small>	名 称	<b>◆◆墓園</b>	●遺骨を移す先の墓地の名称と所在地
	所在地	<b>広島市中区◆◆◆◆</b>	
改葬の理由	<b>墓じまいのため。 現在の墓が遠く、管理が大変なため。等</b>		